

せりふとせりふのあいだから

せりふを 読んで みよう

劇作家と俳優のための せりふの読みかた ワークショップ

次代を担う劇作家を育成するためのプロジェクト

戯曲を読むときに難しいのは、せりふとせりふのあいだ、つまり相手のせりふを聞いてから発語するまでの段階を考えることではないでしょうか。今回のワークショップでは、私の他に若手劇作家有志によるテキストなども使って、この作業を劇作家と俳優それぞれの立場から考察してみたいと思います。

講師 中津留章仁

1973年生まれ。大分県出身。TRASHMASTERS 主宰。日本劇作家協会理事。2000年にTRASHMASTERSを旗揚げ。以降すべての作品の作・演出を手掛ける。現代社会の抱える問題点と、魂を揺さぶる骨太な人間ドラマを描く作風が持ち味。2011年に『背水の孤島』で読賣演劇大賞選考委員特別賞。主な作品は12年『黄色い叫び』、14年『虚像の礎』、15年『そぞろの民』など。紀伊國屋演劇賞個人賞、千田是也賞、読賣演劇大賞優秀演出家賞など受賞多数。



せりふを生み出す——俳優と劇作家の共同作業を体験しよう

3/10(木)-/13(日)

俳優募集！

劇作家募集！

スケジュール・会場

3月10日(木) 芸能花伝舎 A-1 ※一般公開
13:45～ オリエンテーション・稽古

3月11日(金) 芸能花伝舎 A-1
終日 稽古

3月12日(土) 芸能花伝舎 A-3
終日 稽古

3月13日(日) 東京芸術劇場 5F シンフォニースペース
※13時より一般公開

10:30～ 稽古

13:00～ リーディング発表 & 講評

15:00～ トークセッション ※一般公開

「せりふを聞く、せりふを発する」

登壇：永井 愛、中津留章仁、古川貴義(進行)、ほか

9月に好評を得た、
読解と想像によって観客にことばを届けるための、
せりふワークショップ第2回。

俳優の肉体を通すことばはどう変化するか、
劇作家は俳優とどう関わるかを知る稽古場見学。
希望者は会話テキスト提出。

期間 全4日間

定員 各10名～15名

4日間通し受講のみ受付

3日以上参加可能な方
(選考にあたっては4日間の受講が可能な方を優先する場合があります)

応募資格 年齢 20歳以上39歳まで プロの俳優／劇作家として生計を立てていくことを目標にしている方

舞台経験2年以上

経験不問

受付期間 2月1日(月) 0:00—2月22日(月) 23:59 必着

応募方法

メール件名を「せりふワークショップ応募／俳優(または劇作家)」とし、
以下の書類を添付して jpa.serifu@gmail.com まで送信

①経歴書 氏名・ふりがな・住所・電話番号・メールアドレス・生年月日・性別
プロフィール(演劇経験・舞台経験の記載は必須)

②写真(俳優のみ) パストアップと全身の2枚

③作文(劇作家のみ) 「印象に残ったせりふについて」(400-600字) と 「応募動機」(200字)

選考

書類選考ののち、参加の可否をメールで連絡します。
jpa.serifu@gmail.com からのメールが受信できるようにご設定ください。

2月29日(月)夜までに通知

2月25日(土)夜までに通知

初日・最終日は一般公開！

俳優・演劇スタッフ・観客、どなたでもご来場いただけます。

メモ自由。見学者も学べるワークショップ。

中津留章仁による稽古を通して、せりふが立ち上がる瞬間と

その方法をご覧いただけます。

両日来場の他、どちらか1日のみのご予約も承ります。

2月1日(月)

予約受付開始！

一般公開対象日 ▶ 3月10日(木) 13:45～17:00
3月13日(日) 13:00～16:30

料金 ▶ 無料

ご予約は劇作家協会 Web サイトより。
予約フォームへお進みください。

受講料

無料

担当委員：中津留章仁 坂手洋二 古川貴義
奥山雄太 瀬戸山美咲 藤井ごう 古川 健
フライヤーデザイン：奥秋圭

一般社団法人 日本劇作家協会 事務局

TEL：03-5373-6923

MAIL：jpa.serifu@gmail.com

詳細は劇作家協会 Webサイトで

<http://www.jpwa.org>